

南西部地域において不足する外来医療機能について（案）

1. アンケート結果のまとめ

委員数 20 人

不足感の程度	初期救急医療	在宅医療	公衆衛生			介護認定審査
			産業医	学校医	予防接種医	
◎	1人 (5.0%)	1人 (5.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
○	3人 (15.0%)	8人 (40.0%)	1人 (5.0%)	2人 (10.0%)	1人 (5.0%)	2人 (10.0%)
△	6人 (30.0%)	2人 (10.0%)	3人 (15.0%)	3人 (15.0%)	2人 (10.0%)	4人 (20.0%)
×	1人 (5.0%)	1人 (5.0%)	5人 (25.0%)	3人 (15.0%)	5人 (25.0%)	3人 (15.0%)
—	9人 (45.0%)	8人 (40.0%)	11人 (55.0%)	12人 (60.0%)	12人 (60.0%)	11人 (55.0%)

※回答の目安 ◎：とても不足していると感じる ○：やや不足していると感じる
 △：あまり不足していると感じない ×：不足していると感じない
 —：無回答・わからない

2. アンケートで寄せられた主な意見

【初期救急医療】

(朝 霞)

- ・小児休日・夜間救急は、国立病院機構埼玉病院において、医師会が交代で支援を行っており、一般休日・夜間救急は主に各病院が対応していることから、あまり不足しているとは感じない。

(東入間)

- ・医師会や病院により開設されている休日急患診療所、小児時間外救急診療所に加え、土曜・休日に診療を行う医療機関も増えており、あまり不足しているとは感じない。

【在宅医療】

(朝 霞)

- ・24時間の対応を考えると、一般開業医の範囲を超えることも多く、在宅専門医療機関に頼ることが多くなる。
- ・訪問リハビリテーションや小児難病に対する訪問診療などについてはニーズに追いついていない。
- ・医療と介護の連携が不十分なため、切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供ができていない。

(東入間)

- ・往診医の登録医師が50名程度いるが、通常の診療時間外に公衆衛生などの業務も行っており、かなりの負担となっているほか、開業医の高齢化や医師の働き方改革に伴

う医師の健康管理といった環境の変化もある。

- ・高齢者が住み慣れた地域で、できるだけ長く安心して暮らすためには、介護サービスとともに在宅医療は欠かせない資源であり、必要な時に適正に利用できることが望まれる。

(全 域)

- ・南西部の医療圏内でも、地域によってばらつきがあると感じる。

【公衆衛生（産業医）】

(東入間)

- ・通常の診療時間外に産業医等の公衆衛生業務に従事しており、かなりの負担となっているほか、開業医が高齢化しているなどの環境の変化がある。また、国の施策として従業員のメンタルヘルスや働き方改革が強く推進されている。

【公衆衛生（学校医）】

(東入間)

- ・通常の診療時間外に学校医等の公衆衛生業務に従事しており、かなりの負担となっているほか、開業医が高齢化しているなどの環境の変化がある。
- ・複数の学校を兼務している学校医が多い。

【介護認定審査】

(朝 霞)

- ・審査会の時間が診療時間と重なることがあり、都合がつく医師を探すのに苦労している。審査前の書類を見ることに多くの時間を費やしており、負担が大きく感じる。

(東入間)

- ・通常の診療時間外に介護認定審査に従事しており、かなりの負担となっているほか、開業医が高齢化しているなどの環境の変化がある。認定対象者の増加などによる全体の事務が増加している。

【その他】

(朝 霞)

- ・警察協力医、嘱託医は夜間・早朝の検案もあり、なり手がいない。
- ・耳鼻咽喉科の夜間救急外来は不足していると感じる。
- ・小児の発達遅滞、自閉症等の診断治療を行う医療機関が少ない。
- ・病院の立場から、内科系（神経、内分泌、腎臓、リウマチ、血液など）で地域のリーダーとして外来診療を牽引していく医師が不足していると感じる。
- ・高齢者において、眼科、泌尿器科、皮膚科、整形は日常的に頻度が高い診療科であり、一医療機関で完結できるよう、特に高齢者に多い疾病を併診標榜したクリニックがあるとよい。

(東入間)

- ・初期救急にあまり不足感はないが、医師会員の高齢化に伴い、休日急患診療所運営のための人員確保が大変という声も聴いている。

(全 域)

- ・住民への適切な受診に関わる啓発活動を今後も継続していくことによって、初期救急の不足感は相対的に減らすことができるのではないか。

3. 計画本文への記載内容

アンケートの回答内容を、郡市医師会の区域単位でとりまとめた上で、以下のとおり計画に記載してはどうか。

計画変更素案 本文 P25

(3) 各区域において不足している外来医療機能

本県では、各区域の協議の場を活用して、区域ごとの外来医療機能の不足感について意見聴取を行いました。

提出された意見に基づき、夜間や休日等における初期救急医療、在宅医療、産業医・学校医・予防接種等の公衆衛生や、介護認定審査に係る医療提供体制の4項目について、区域ごとの状況を取りまとめました。

これらの項目以外の意見については、県ホームページで情報提供します。

イ 南西部区域

(朝霞地区)

- ・在宅医療、介護認定審査にやや不足感がある。

(東入間地区)

- ・在宅医療、公衆衛生（産業医・学校医）、介護認定審査にやや不足感がある。